

多摩市グリーンボランティア通信

創刊6号

多摩市グリーンボランティア講座中級

多摩市、多摩グリーンボランティア森木会、多摩市グリーンボランティア連絡会が協働で企画運営している「多摩市グリーンボランティア講座中級」をご紹介します。

グリーンボランティア講座中級の始まり

平成14年2月から始まった多摩市グリーンボランティア講座初級では、鎌・鋸・鉋などの道具を使った基本的な雑木林の管理方法と公共の公園緑地での管理計画作成を内容としていました。さらにステップアップするために、作業機械の操作方法の習得と活動のリーダー養成を目的として、平成17年7月から中級講座を開始しました。平成23年12月現在で第7期の講座を終了して、61人の修了者の方々が、市内の公園緑地で活動しています。

中級講座では、活動のリーダーとして、一緒

に活動している会員の方々の安全・安心・楽しみ・やりがい・仲間づくり、自然のしくみを知ることの手助けをしていける人を育成していくことを目的としています。そのため、作業機械の正しい使い方、花木・果樹・鑑賞

平成24年第8期 多摩市グリーンボランティア講座 中級スケジュール

		講座内容	活動場所
1	7/7 (土)	刈払い機の安全な使用方法	エコプラザ多摩 多目的ホール、よこやまの道
2	8/4 (土)	活動に必要なファーストエイド(応急方法)	多摩消防署
3	9/1 (土)	樹木の剪定手法	一本杉公園加藤家周辺
4	10/6 (土)	チェーンソーの安全な使用方法(チェーンソーの基本操作)	エコプラザ多摩 多目的ホール、よこやまの道
5	10/7 (日)	チェーンソーの安全な使用方法(樹木の伐倒方法)	エコプラザ多摩 多目的ホール、よこやまの道
6	11/3 (土)	雑木林管理のリーダーのノウハウ、修了式	グリーンライブセンター



刈払機の操作(7月)



チェーンソーの基本操作(10月)

木・庭木などの剪定手法、活動する際の安全救急法とリスクマネジメント、活動のリーダーシップなどを学び、活動の企画・運営などのコーディネートが出来るようになることを目指しています。多摩グリーンボランティア森木会のスタッフを中心に講師を担当します。

グリーンボランティア講座中級の内容

刈払機

雑木林の保全活動の、もっとも基本となるのが草刈作業です。刈払機を用いた草刈作業について、自らの安全と周りの人にも安全が確保される刈払機操作方法と、刈払機の保守点検方法について実習を交えて学びます。楽しい活動には、安全が全てに優先します。



救命講習 刈払機のメンテナンス(7月)

活動中の怪我・事故に備えるために、基本的な応急処置方法を学んでおく必要があります。多摩消防署のご協力により、消防署で実施する「上級救命講習」を講座に取り入れています。これは心肺蘇生法としてのAEDや胸骨圧迫だけでなく、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法などの講習も含んでいます。



多摩消防署で実施した上級救命講習(8月)

AEDの操作(左)と三角巾の使い方(右)

剪定

樹木の生態と道具の使い方を理解しながら剪定手法を学び、四季折々の植物歳時記を楽しむとともに、良好な樹林環境を創出するノウハウを習得します。恵泉女学園大学小林幹夫先生に講師をお願いしています。



恵泉の小林先生から木を見てどのように剪定するか話を聞いているところ(左)、剪定作業(右)(9月)

チェーンソー

多摩市内の雑木林の樹木は、永年、手が入っていなかったため、樹齢30~60年となり、手作業で伐採するのが難しくなりました。そこで、チェーンソー他の道具を正しく安全に使うために、基本操作から刃の目立てまでのメンテナンス方法を学びます。2日目は、チェーンソーを使って安全確実に立木を伐倒する方法を実習します。



チェーンソーを使った伐木の講習(よこやまの道10月)

雑木林管理のリーダーのノウハウ

多摩市のみどりの現状を知り、ボランティアのリーダーとして必要なノウハウを習得します。また、ボランティア活動のリスクマネジメントについて学びます。

グリーンボランティア講座中級は毎年7~11月に開催しています。募集案内や詳しい講座の内容はグリーンライブセンターにお問合せください。

多摩市グリーンボランティア通信 創刊6号

発行日: 2012年10月31日

編集: 多摩市グリーンボランティア連絡会 事務局

発行責任: 多摩市グリーンボランティア連絡会 事務局

〒206-0033 東京都多摩市落合2-35 多摩中央公園

多摩市立グリーンライブセンター内

電話 042-375-8716 FAX 042-375-0087

ホームページ <http://www.keisen.ac.jp/tglc/>